

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成24事業年度の業務実績に関する
項目別評価結果

(大項目評価)

平成25年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

2 大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	---------------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、24項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②下記の「大項目評価に当たり勘案した事項」に示すように、美術科デザインコースの再編成、国際文化学科の廃止及び国際総合学科の設置並びに新カリキュラムによる平成25年度入学者の学生募集を実施したこと。また、音楽科管弦打コースで履修可能な楽器にサクソフォン等を加え平成25年度入学者の学生募集をする等、学生のニーズや卒業後の進路を重視した取組を進めるとともに、その結果が入学者数の増に表れていること。
- ③小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育内容及び到達目標
 - ・美術科デザイン専攻について、学生のニーズにあわせてビジュアルデザイン、メディアデザイン、プロダクトデザインの3コースに再編成することを決定し、新カリキュラムによる平成25年度入学者の学生募集を実施した。
 - ・国際文化学科の廃止及び国際総合学科の設置、国際コミュニケーション、観光マネジメント、現代キャリアの3コースの設置を決定するとともに、新カリキュラムによる平成25年度入学者の学生募集を実施した。
 - ・情報コミュニケーション学科では、サービスラーニングを推進し、高い就職率につなげた(H25.5.1現在95.5%)。
- 教育の実施体制
 - ・音楽科では、履修可能な楽器にサクソフォンとユーフォニアムを加え、平成25年度入学者の学生募集を実施した。
- 研究の方向
 - ・県立美術館まちなか支局において、学生が子ども向けのワークショップを開催した。
- 国際交流の推進
 - ・中国武漢市の江漢大学から教員1名を招聘するとともに、特別聴講生3名の受入準備を行った。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	15(10)			10(6)	5(4)
研究	5(1)			4	1(1)
社会貢献	4(2)			3(1)	1(1)
合計	24(13)			17(7)	7(6)
ウエイト考慮 後の合計	37			24	13

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、24項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

・国際文化学科の廃止及び国際総合学科の設置への取組結果が、入学者数の増に表れている。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 業務の選択と集中
 ・組織活力の維持、適正化及び業務運営の改善、効率化を目的として、教員の早期退職制度を新設した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
運営体制	5			5	
人事の適正化	3 (1)			3 (1)	
業務の選択と集中	1 (1)			1 (1)	
合 計	9 (2)			9 (2)	
ウエイト考慮 後の合計	11			11	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・様々なかたちで努力していることが見受けられる。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

<p>①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。</p> <p>②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。</p>
--

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
事務効率化・ 経費抑制	3			3	
自己収入・外部 研究資金の獲得	3(1)			3(1)	
資産の適正管 理・有効活用	3			3	
合 計	9(1)			9(1)	
ウエイト考慮 後の合計	10			10	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	1			1	
情報公開・ 情報発信	2(1)			2(1)	
合 計	3(1)			3(1)	
ウエイト考慮 後の合計	4			4	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

<p>①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。</p> <p>②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。</p>

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	1 (1)			1 (1)	
安全管理	5			5	
人権啓発推進	4			4	
合 計	10 (1)			10 (1)	
ウエイト考慮 後の合計	11			11	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし
